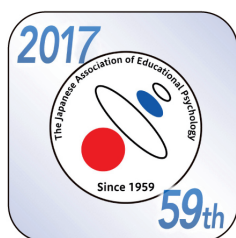


日本教育心理学会 第 59 回（2017 年）総会のご案内



実践を豊かにする確かな理論

会 期：2017 年 10 月 7 日(土)・8 日(日)・9 日(月・祝)

会 場：名古屋国際会議場

担当校：名古屋大学

会員の皆様

日本教育心理学会第 59 回総会を、名古屋国際会議場で開催いたします。貴重な研究交流の機会ですので、たくさんの方にご参加いただいて充実した 3 日間となりますよう、どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人 日本教育心理学会
理事長 南風原朝和

準備委員長あいさつ

第 59 回総会は、名古屋大学が担当校となり開催いたします。

総会のテーマは、「実践を豊かにする確かな理論」です。このテーマとしたのは、私たち準備委員会委員の、教育心理学に対する次のような考えがあるからです。教育心理学は、実践的性格を持っています。私たちは、実践に資する教育心理学研究を目指す必要があると考えます。しかし、本来、実践と理論、実践と研究は対立するものではありません。教育心理学を研究するものとして私たちは、実践に役立つ教育心理学であるために、確かな理論と堅実なデータが必須だと考えています。私たちは、教育心理学の一層の活性化のために、実践と理論の緊張感のある対話を積極的に図ることが効果的だと考えているのです。第 59 回総会において、研究発表やシンポジウム、自由な討論の中で、実践と理論の緊張感のある対話があらちこちで繰り広げられることを期待しています。

名古屋総会では、準備委員会企画として、基調講演と 4 つのシンポジウムを行うことを予定しています。基調講演は、ニューヨーク市立大学クイーンズ・カレッジの Hefer Bembenutty 先生をお招きして、「Self-regulated learning and academic delay of gratification (自己調整学習と学業的満足遅延) <仮題>」というタイトルで行われます。準備委員会企画シンポジウムとしては、「学習動機づけ研究の未来－教育心理学研究における動向とこれから－」「思春期における発達と問題行動<仮題>」「心理危機研究をどのように現場実践に生かすか－研究の場と臨床現場の往還－」「福島第一原子力発電所事故がもたらした心理的被害について」の 4 つを予定しています。一つひとつのタイトルの間に明確な関連性はありませんが、いずれも実践的で現代的な問題を取り上げ、理論と研究、そして実践の緊張感のある対話を試みようと考えています。

会場は、名古屋国際会議場です。名古屋駅から電車や地下鉄で 20 分程度、中部国際空港からでも 1 時間以内の場所にあります。学会開催のための設備も整っております。準備委員会一同、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

第 59 回総会準備委員長 名古屋大学 氏家達夫

1. 総会での催し

タイトル等は企画段階のものです。詳細につきましては、随時、総会ホームページにてお知らせします。

(1) 基調講演

Self-regulated learning and academic delay of gratification

(自己調整学習と学業的満足遅延)

講師: Dr. Hefer Bembunetty (The City University of New York, Queens College)

(2) 小講演

チェルノブイリ事故からの心理学的教訓

講師: Dr. Britt-Marie Drottz-Sjoberg (NTNU, Norway)

(3) シンポジウム

1) 準備委員会企画

- ① 学習動機づけ研究の未来
—教育心理学研究における動向とこれから—
- ② 思春期における発達と問題行動
- ③ 心理危機研究をどのように現場実践に生かすか
—研究の場と臨床現場の往還—
- ④ 福島第一原子力発電所事故がもたらした心理的被害について

2) 研究委員会企画

- ① 若者はいかにして社会・政治問題と向き合うようになるのか
- ② 今、教育現場で LGBT の子どもたちは
- ③ 教育心理学から考える“チーム学校”

(4) 研究委員会企画チュートリアルセミナー

統計モデルの違いを理解する

—一般線形モデル・一般化線形モデル・階層線形モデル・
階層的重回帰モデル—

(5) ハラスメント防止委員会企画講演

ハラスメント被害者の心理的回復

講師: 小西聖子 (武蔵野大学)

(6) 授賞式・会務報告会

総会 2 日目 (10 月 8 日) のお昼の時間帯に城戸奨励賞・優秀論文賞の授賞式ならびに受賞者のスピーチ, そして学会の活動報告と意見交換の会を開催します。会場に軽食を用意します。お気軽にご参加ください。

(7) 懇親会

総会 2 日目（10 月 8 日）の夜に懇親会を開催します。名古屋の夜景と料理を楽しみながら、会員同士の交流を深めてください。事前の参加申込みをお願いします。

日 時：10 月 8 日（日）18：30～20：30

会 場：名古屋国際会議場 7F 展望レストラン「パステル」

事前参加費：5,000 円（大学院生・学部生は 3,000 円）

当日参加費：6,000 円（大学院生・学部生は 4,000 円）

2. 会員によるポスター発表・自主企画シンポジウム

(1) ポスター発表

研究発表は、ポスター発表で行います。連名で発表する場合、発表者のうちの 1 人を「責任発表者」とし、他の連名の方を「連名発表者」とします。

1) 発表方法と発表論文集原稿

- ① 発表内容をポスター形式で掲示し、質疑に対する応答をします。ポスターを掲示するパネルの大きさは横 90cm×縦 210cm です。
- ② 1 セッションの時間は 2 時間で、発表者の在席責任時間は 1 時間です。
- ③ 発表論文集原稿は、1 発表につき B5 サイズ 1 ページです。12「申込みの方法」および 13「ポスター発表の原稿作成のお願い」を参考に、5 月 15 日（月）までに提出してください。申込みの際には、連名発表者全員の会員非会員の別、および会員の方については会員番号が必要です。事前にご確認と準備をお願いします。

2) 発表要件

- ① 「発表論文集への論文掲載」、「ポスターの掲示」、「責任時間の在席」の 3 条件をすべて満たすことによって正式発表とします。
- ② 責任発表者および筆頭者は会員に限ります。
- ③ 連名発表者は会員でない方も可としますが、会員に準じる方に限定し、学部生や高校生は不可とします。会員でない方については、責任発表者が連名発表費をまとめて振込んでください（1 人につき 7,000 円）。
- ④ 責任発表者が発表できなくなった場合は、所定の申請書を総会ホームページからダウンロードして必要事項を記入のうえ、会期前は日本教育心理学会事務局へ、会期中は発表変更受付へご提出ください。会期中、申請書の提出が間に合わない場合は、プログラムに掲載する連絡先にお電話ください。その場合、連名発表者が会員であれば代わりに責任発表者になることができます（ただし、以下の⑤の制約があります）。会員でない連名発表者が代わりに責任発表者になる場合には、発表までに入会を申請し、理事会の承認を得てください。責任発表者と連名発表者がともに発表できない場合は、発表取消となります。
- ⑤ 責任発表者になるのは 1 人 1 回に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。
- ⑥ 連名発表者が総会に参加される場合は、別途、参加費が必要です。会員でない方も割引が適用される事前参加申込みができますので、ご利用ください（5「諸費用の振込み」参照）。
- ⑦ プログラム編成の都合から、連名発表者の発表時間が重なってしまうこともあり

ます。あらかじめご了承ください。

- ⑧ 原稿提出の際に、総会申込みシステム内の倫理面に関するチェック項目に回答してください。原稿内容によっては理事会から問合せを行うこともあり、問合せの結果によっては発表が認められないこともあります。

(2) 自主企画シンポジウム

会員の自主運営によるシンポジウムです。企画者(複数の場合はそのうちの1人)を「責任企画者」、責任企画者以外のメンバーを「登壇者」とします。

1) 発表方法と発表論文集原稿

- ① 発表の内容、方法、構成は企画者においてお決めください。
- ② 1セッションの時間は2時間です。発表等に必要なパソコンは、各自ご用意ください。
- ③ 発表論文集原稿は、1企画につきB5サイズ2ページです。12「申込みの方法」および14「自主企画シンポジウムの原稿作成のお願い」を参考に、5月15日(月)までに提出してください。申込みの際には、登壇者全員の会員非会員の別、および会員の方については会員番号が必要です。事前にご確認と準備をお願いします。

2) 発表要件

- ① 責任企画者は会員に限ります。
- ② 責任企画者以外の企画者、司会者、話題提供者、指定討論者は会員でない方も可としますが、会員に準じる方に限定し、学部生や高校生は不可とします。会員でない方については、責任企画者が登壇者参加費(1人につき5,000円)をまとめて振込んでください。
- ③ 責任企画者は当該セッションに必ず参加してください。
- ④ 責任企画者が参加できなくなった場合は、所定の申請書を総会ホームページからダウンロードして必要事項を記入のうえ、会期前は日本教育心理学会事務局へ、会期中は発表変更受付へご提出ください(会期中、申請書の提出が間に合わない場合は、プログラムに掲載する連絡先にお電話ください)。
- ⑤ プログラム編成の都合から、自主企画シンポジウムへの登壇(企画者、司会者、話題提供者、指定討論者としての参加)を1人2セッションまでとします。
- ⑥ 会員でない方の登壇者参加費は当該シンポジウム開催日当日の会員外1日参加費となります。当日以外も参加される場合は、通常の参加費との差額を登壇者ご自身でお支払いください。会員でない方も割引が適用される事前参加申込みができますので、ご利用ください(5「諸費用の振込み」参照)。
- ⑦ 自主企画シンポジウムは会場の都合等でお断りすることもありますので、あらかじめご了承ください。採否のご連絡は6月下旬頃を予定しています。お断りすることになった場合には、企画開催費および会員でない方の登壇者参加費をお返しします。
- ⑧ 原稿提出の際に、総会申込みシステム内の倫理面を含むチェック項目に回答してください。原稿内容によっては理事会から問合せを行うこともあり、問合せの結果によっては企画が認められないこともあります。

3. 会員としての発表の要件（責任発表者、責任企画者）

1) 会員の方

2017年度の年会費を2017年4月30日までに振込み、発表の申込み手続きと参加費等の諸費用の振込みを2017年5月15日までに済ませてください。

2) 未入会の方および2017年3月に大学卒業予定の方(会員の方からお知らせください)

- ① 2017年4月30日までに日本教育心理学会事務局へ入会の申込みをしてください。
承認後に、入会金および年会費の払込取扱票および総会事前申込み等諸手続きに関するご案内をお送りします。
- ② 発表の申込み手続きと参加費等の諸費用の振込みを2017年5月15日までに済ませてください。

4. 事前参加申込み等の各種手続き

参加・ポスター発表・自主企画シンポジウムの申込みは、12「申込みの方法」をご参照のうえ、総会のホームページから行ってください。ホームページからの申込みができない場合には、日本教育心理学会事務局へご連絡ください。参加のみの場合も、参加章の作成および費用振込みの確認等に必要ですので、ホームページからお申込みくださるようお願いいたします。

5. 諸費用の振込み

1) 郵便局の払込取扱票にて振込み

口座番号：00130-5-572082

加入者名：日本教育心理学会総会

※ 上記の振替口座に銀行等から振込む場合

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキュウ）店 (019)

預金種目 当座 口座番号 0572082

2) 銀行口座へ振込み

口座名：一般社団法人 日本教育心理学会（すべて共通）

ゆうちょ銀行	記号	10160	番号	5689321
みずほ銀行	本郷支店	普通	2906890	
三菱東京UFJ銀行	本郷支店	普通	0133602	
三井住友銀行	小石川支店	普通	3744330	
りそな銀行	本郷支店	普通	1831618	

※ 個人の銀行口座よりお振込みの際には、必ずお名前の前に会員番号を入力してください。会員番号は、同封の払込取扱票の宛名欄に印字されています。

※ 所属先等の口座から直接振込みをされる場合には、その旨を事務局へご連絡ください。

第 59 回総会 諸費用

	事前参加費 (払込取扱票等での振込み)	当日参加費 (会場での現金扱)
総会参加費		
会員 (大学院生以外)	11,000 円	12,000 円
(大学院生)	9,000 円	10,000 円
会員外	12,000 円	13,000 円
学部生	4,000 円	5,000 円

懇親会参加費		
一般	5,000 円	6,000 円
大学院生・学部生	3,000 円	4,000 円

ポスター発表費		
会員	無料	
会員外の連名発表費	7,000 円 (1 人 1 発表ごとに必要)	

※ 責任発表者の方は、会員でない方の連名発表費を、ご自身の事前参加費と一緒にお振込みください。

※ 会員でない連名発表者が総会に参加される場合は、別途参加費が必要です。

自主企画シンポジウム費		
企画開催費	20,000 円	
会員の登壇者参加費	無料	
会員外の登壇者参加費	5,000 円	

※ 責任企画者の方は、会員でない方の登壇者参加費を企画開催費およびご自身の事前参加費と併せてお振込みください。



広く本学会の研究活動に関心を持っていただけるよう、今回も以下のように「会員外 1 日参加費」を設定しましたので、会員の皆様から学生の方やお近くの方にお声かけください。

会員外 1 日参加費		
一般・大学院生	5,000 円	
学部生	2,000 円	

※ 会員外 1 日参加の申込みは、総会期間中に会場にて受付けます。
「1 日参加」は、まだ会員でない方のみの設定です。

6. 発表申込み・原稿提出・諸費用振込みの締切

発表の申込み	2017 年 5 月 15 日（月）
発表内容の登録・発表論文集原稿の提出	2017 年 5 月 15 日（月）
諸費用の振込み	
責任発表者・責任企画者	2017 年 5 月 15 日（月）
上記以外の方で参加費を事前に振込む方	2017 年 9 月 15 日（金）

※ 締切までに振込みがあった方へは、事前に参加章と領収書をお送りします（プログラムとは別にお送りします）。会場での手続きを少なくするため、できるだけ事前にお振込みくださいますよう、皆様のご協力をお願いします。

7. 総会発表論文集の購入

発表論文集は 1 冊 8,500 円（消費税・送料込）です。申込み数に応じて印刷しますので、購入される方は以下の申込みフォームにて 2017 年 8 月 7 日（月）までにお申込みください。

個人で購入（研究費等）
<https://goo.gl/M1S01Q>

機関で購入（図書館・研究室等）
<https://goo.gl/K6R4Mo>



8. その他

(1) WEB およびアプリでの総会プログラムシステム

プログラム、発表論文、タイムテーブルなどを総会ホームページとアプリで公開します。

(2) パソコンおよび無線 LAN

発表等に必要なパソコンは、各自ご用意ください。
総会会場内の共有エリアでは無線 LAN をお使いいただけます。

(3) 託児室サービス

総会期間中、託児室（無料）を設けますので、どうぞご利用ください。ご希望の方は、日本教育心理学会事務局へメールにてご連絡ください。折り返し申込み書等をお送りいたします。

9. 今後の予定

- ① 総会についての詳細は、随時、総会ホームページにてお知らせします。
- ② 総会プログラムは 9 月上旬頃、会員の皆様にお送りする予定です。
- ③ 9 月 15 日までに事前参加費を振込まれた方には、参加章と領収書をお送りします。参加章は総会当日、必ずご持参いただき、ご着用ください。

10. 宿泊について

総会期間中に、名古屋市周辺にて他に大きなイベントがあるため、宿泊先はお早めに確保されますようお願いいたします。

11. 総会に関する問合せおよび各種連絡先

総会への参加・発表申込み等に関するご質問や、住所変更・入会手続き等のご連絡は下記までお願いします。

一般社団法人 日本教育心理学会

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6-7F

E-mail : office@edupsych.jp

Tel : 03-3818-1534

Fax : 03-3818-1575

日本教育心理学会ホームページ

<http://www.edupsych.jp/>

第59回総会ホームページ

<https://confit.atlas.jp/edupsych2017>

12. 申込みの方法

申込み画面にアクセス

日本教育心理学会ホームページ <http://www.edupsych.jp/>

「会員の方へ」→「ログイン画面へ」からログインし「総会申込み」をクリック
または

第59回総会ホームページ <https://confit.atlas.jp/edupsych2017>

「参加申込み」→「ログイン画面へ」からログインし「総会申込み」をクリック
※「ポスター発表申込み」「自主企画シンポジウム申込み」からもアクセスできます

責任発表者および責任企画者

発表の申込み・発表内容の登録と発表論文集原稿の提出および諸費用の振込み

- ① 下記期間内に申込み画面より総会および懇親会（希望する場合）への参加申込みと発表申込みを行う
- ② 「発表内容の登録」画面より発表者名や各発表者の役割など発表に関する諸情報を登録する
- ③ 登録後、発表論文集原稿のテンプレートをダウンロードして原稿を作成し、Wordファイルおよび確認用のPDFファイルの両方を、画面の案内にしたがってアップロードする
- ④ 下記期限内に事前参加費と発表に関する諸費用を振込む

発表申込み・原稿提出 2017年5月15日(月)まで

諸費用の振込み 2017年5月15日(月)まで

参加のみの方および責任発表者・責任企画者でない方

参加の申込みと諸費用の振込み

会員の方：

申込み画面より総会および懇親会（希望する場合）への参加申込みをし、事前参加費を2017年9月15日（金）までに振込む

現在会員でない方：

第59回総会ホームページで「参加申込み」→「会員でない方の参加申込み」より手続きをする

13. ポスター発表の原稿作成のお願い

総会発表論文集は、『教育心理学研究』に準じて、原稿の形式を統一しております。原稿作成にあたっては、以下の点をご確認いただき、形式の統一にご協力をお願いします。

◆ テンプレート

1. 原稿は必ずテンプレートを使用して作成してください。
2. テンプレートは、会員専用ページの「総会申込み」からタイトルや発表者名等を登録した後に、ダウンロードしてください。ダウンロードしたテンプレートには、登録したタイトルや発表者名等が自動で入ります。
3. タイトル、サブタイトル、発表者の氏名、所属、責任発表者（○印）、発表者の順番、会員・非会員（＃印）の別、キーワードに誤りがないかご確認ください。連名発表者の所属についてはご本人に確認してください。
4. タイトルや発表者名等のレイアウトは編集の際に整えます。
5. タイトルや発表者名等を変更する場合は、「総会申込み」から登録内容を変更した後、再度テンプレートをダウンロードしてください。

※ これは、登録内容と原稿との不整合を防ぎ、登録内容からプログラムを正確に作成するために必要な手続きです。

6. テンプレートは本文部分に色がついていますが、編集可能な領域を示しているだけで、印刷には影響しません。色を消したい場合は、「校閲」→「編集の制限」から「編集可能な領域を強調表示する」のチェックマークを外してください。
7. 文字フォントは「ホーム」画面から、文字数と行数は「ページ設定」画面から変更できますが、余白（上 14mm、下 17mm、左右 15mm に統一）は変更しないでください。

◆ 用紙とページ数

ポスター発表の原稿は、1 発表につき B5 サイズ 1 ページです。

◆ 文字入力

1. 文字フォントは、本文は MS 明朝、見出しは MS ゴシックを使用してください。
2. 句読点は『教育心理学研究』と同じく、カンマ（,）、マル（.）で統一してください。
3. 文字化けを避けるため、以下は全て全角文字にしてください。
カタカナ カンマ（,）、マル（.） （ ）、「」、” などの記号 ギリシャ文字
4. 環境依存文字（①、（株）など）や外字（崎、高など）は使用しないでください。

◆ 見出し

最上位の見出しは行の中央におき、下位の見出しは左端から書いてください。

◆ 図表

1. 図表は文字が小さすぎないように、かつ鮮明なものにしてください。
2. 図表のタイトルは『教育心理学研究』と同じく、Figure 1, Table 1 とし、図のタイトルは図の下に、表のタイトルは表の上に配置してください。

◆ ファイル名

アップロードの際のファイル名は、ポスター発表の原稿であることを示す P の後に責任発表者の氏名を入れたものにしてください。

例：P教心太郎

14. 自主企画シンポジウムの原稿作成のお願い

総会発表論文集は、『教育心理学研究』に準じて、原稿の形式を統一しております。原稿作成にあたっては、以下の点をご確認いただき、形式の統一にご協力をお願いします。

◆ テンプレート

1. 原稿は必ずテンプレートを使用して作成してください。
2. テンプレートは、会員専用ページの「総会申込み」からタイトルや登壇者名等を登録した後に、ダウンロードしてください。ダウンロードしたテンプレートには、登録したタイトルや登壇者名等が自動で入ります。
3. タイトル、サブタイトル、登壇者の役割、氏名、所属、順番、会員・非会員（#印）の別、キーワードに誤りがないかご確認ください。登壇者の所属についてはご本人に確認してください。
4. タイトルや登壇者名等のレイアウトは編集の際に整えます。
5. タイトルや登壇者名等を変更する場合は、「総会申込み」から登録内容を変更した後、再度テンプレートをダウンロードしてください。

※ これは、登録内容と原稿との不整合を防ぎ、登録内容からプログラムを正確に作成するために必要な手続きです。

6. テンプレートは本文部分に色がついていますが、編集可能な領域を示しているだけで、印刷には影響しません。色を消したい場合は、「校閲」→「編集の制限」から「編集可能な領域を強調表示する」のチェックマークを外してください。
7. 文字フォントは「ホーム」画面から、文字数と行数は「ページ設定」画面から変更できますが、余白（上 14mm，下 17mm，左右 15mm に統一）は変更しないでください。

◆ 用紙とページ数

自主企画シンポジウムの原稿は、1 企画につき B5 サイズ 2 ページです。

◆ 文字入力

1. 文字フォントは、本文は MS 明朝，見出しは MS ゴシックを使用してください。
2. 句読点は『教育心理学研究』と同じく、カンマ（,），マル（。）で統一してください。
3. 文字化けを避けるため、以下は全て全角文字にしてください。
カタカナ カンマ（,），マル（。） （ ），「 」，“ ”などの記号 ギリシャ文字
4. 環境依存文字（①，（株）など）や外字（崎，高など）は使用しないでください。

◆ 見出し

最上位の見出しは行の中央におき、下位の見出しは左端から書いてください。

◆ 図表

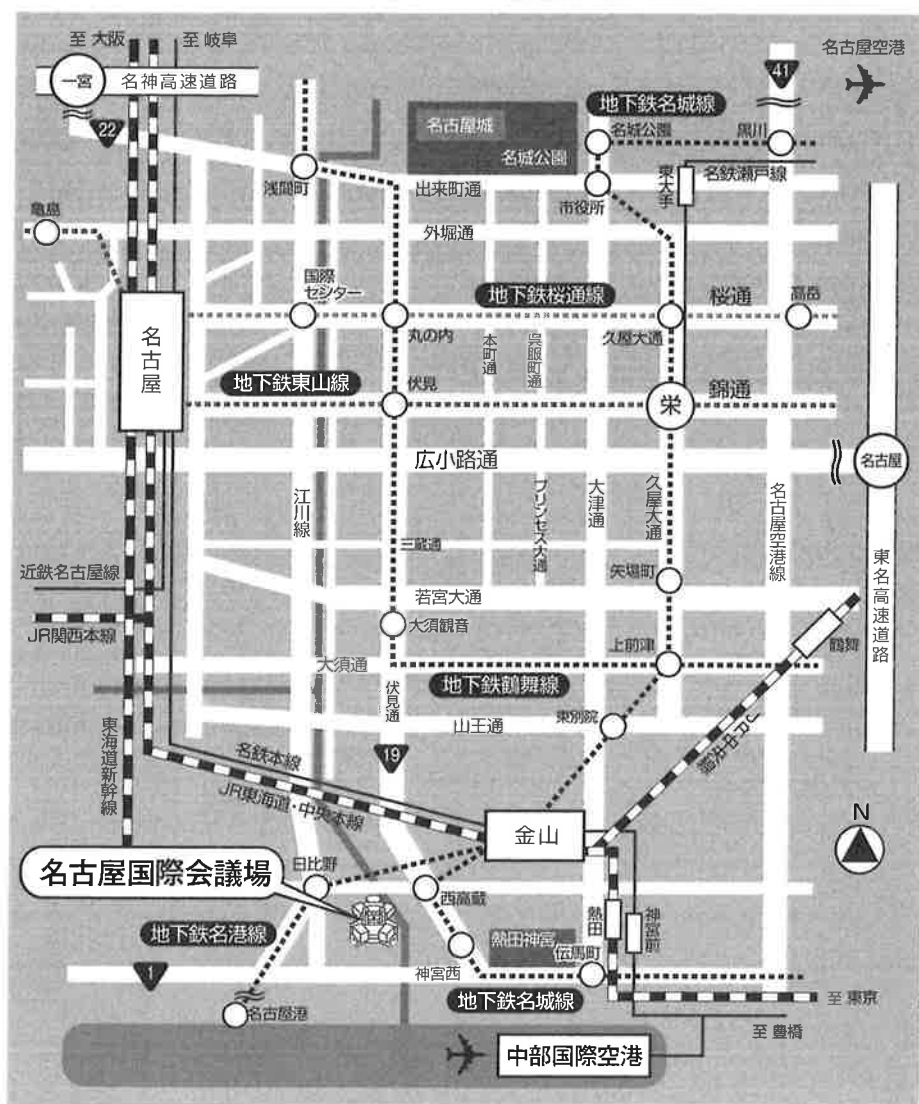
1. 図表は文字が小さすぎないように、かつ鮮明なものにしてください。
2. 図表のタイトルは『教育心理学研究』と同じく、Figure 1, Table 1 とし、図のタイトルは図の下に、表のタイトルは表の上に配置してください。

◆ ファイル名

アップロードの際のファイル名は、自主企画シンポジウム 1 件目の原稿であることを示す J1（2 件目については J2）の後に責任登壇者の氏名を入れたものにしてください。

例：J1教心太郎

名古屋国際会議場への交通のご案内



名古屋駅から	中部国際空港(セントレア)から
タクシー 名古屋駅 → 名古屋国際会議場 約20分 JRまたは名鉄 + 地下鉄 名古屋駅 → 金山のりかえ (3分) → 地下鉄 (2分) → 日比野 (名港線) または 西高蔵 (名城線) 下車 (徒歩 5分) → 名古屋国際会議場 地下鉄 名古屋駅 → 栄 (東山線) または 久屋大通 (桜通線) のりかえ (4分) → 地下鉄 (8分) → 金山 (2分) → 日比野 (名港線) または 西高蔵 (名城線) 下車 (徒歩 5分) → 名古屋国際会議場	タクシー 中部国際空港 → 名古屋国際会議場 約40分 名鉄 + 地下鉄 中部国際空港 → 名鉄空港特急 ミュースカイ (24分) → 金山 (2分) → 地下鉄 (2分) → 日比野 (名港線) または 西高蔵 (名城線) 下車 (徒歩 5分) → 名古屋国際会議場